

保護者様

大津市立真野小学校
校長 橋本 知典令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果
「我が校の強み弱み分析・評価シート」について

平素は、本校教育活動にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本年度実施の全国学力・学習状況調査の分析結果を「我が校の強み弱み分析・評価シート」としてまとめましたのでお知らせいたします。

今後、結果を踏まえ、学力向上に向けて指導の改善、対策に取り組んでまいりますので、いっそうのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果】

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立真野小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1. 真野小の児童の状況分析 《強み…○・弱み…■》

【国語】

- （知識及び技能）情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う設問において、平均正答率が89.5%であり、全国平均を2.6%、県平均を2.9%上回った。
- （思考力・判断力・表現力等）登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える設問において、平均正答率72.1%であり、全国平均を5.2%、県平均を7.2%上回った。
- （知識及び技能）当該学年までに配当されている漢字の書き取りや送り仮名に注意して漢字を文中で正しく使う設問において、平均正答率が60.5%であり、全国平均を15.5%、県平均を13.2%下回った。
- （思考力・判断力・表現力等）取材メモを基に、目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して自分の考えを書く設問において、平均正答率が50.0%であり、全国平均を6.6%、県平均を3.4%下回った。

【算数】

- （データの活用）二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する設問において、平均正答率が73.3%であり、全国平均と同等、県平均を0.3%上回った。
- （数と計算）除数が小数である場合の除法の計算をする設問において平均正答率が54.7%であり、全国平均を15.4%、県平均を12.1%下回り、課題が見られる結果となった。
- （図形）角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する設問において、平均正答率が61.6%であり、全国平均を10.4%、県平均を10.3%下回り、課題が見られる結果となった。
- （変化と関係）道のりが等しい場合の早さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する設問において、平均正答率が23.3%であり、全国平均を7.7%、県平均を5.2%下回り、課題が見られる結果となった。

【児童質問紙】

- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できますか」「友達関係に満足していますか」という質問に対して、肯定的な回答した児童の割合は、全国、県より上回った。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、昨年度と比較すると増加しており、目標値を達成している。
- 「授業の中でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に対して、週3回以上やほぼ毎日と回答した児童の割合が全国、県より上回った。また、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができているか」という質問についても、肯定的な回答をした児童の割合が全国、県より上回っている。
- 理科学習の推進を通して、問題解決能力を高める学習に取り組む。自然に親しみ、理科が好きな子どもを育てる。
- 「国語・算数・理科の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国、県と比較すると下回った。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国、県と比較すると下回った。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国、県と比較すると下回った。

2. 指導の充実に向けて

◇授業のユニバーサルデザイン化に学校全体で推進する。

- ・「焦点化・視覚化・共有化」の3視点を意識し、子どもが「できる」「分かる」を実感できる授業づくりに取り組む。
- ・子どもが意欲的に取り組むことができる授業、学級の仲間と考えを共有する良さを感じられる授業の中で「各教科の学習が楽しい」と思うことができる子どもを増やしていく。
- ・理科学習の推進を通して、問題解決能力を高める学習に取り組む。自然に親しみ、理科好きの子どもを育てる。

◇学校教育目標「自分が好き 人が好き 真野が好き」と言える子どもの育成を常に意識し、教育活動を展開する。

- ・行事や日々の学習に取り組む目的を明確にする。目標に向かって取り組む過程で自己肯定感や自己有用感を高める。
- ・夢プロジェクトや各教科の学習において、地域の方とふれ合う機会を増やすことで地域への興味関心を高め、真野の地域に貢献したいと思うことができる子どもを育てる。

◇漢字の定着を図る。

- ・真野っ子タイムを活用し、漢字学習や新出漢字を使った短作文の学習に取り組み、書くことへの抵抗を減らしていくとともに、漢字の定着を図る。

◇基礎基本の定着を図る。

- ・学習課題の習熟に向け、反復学習を行い、基礎基本の定着を図る。